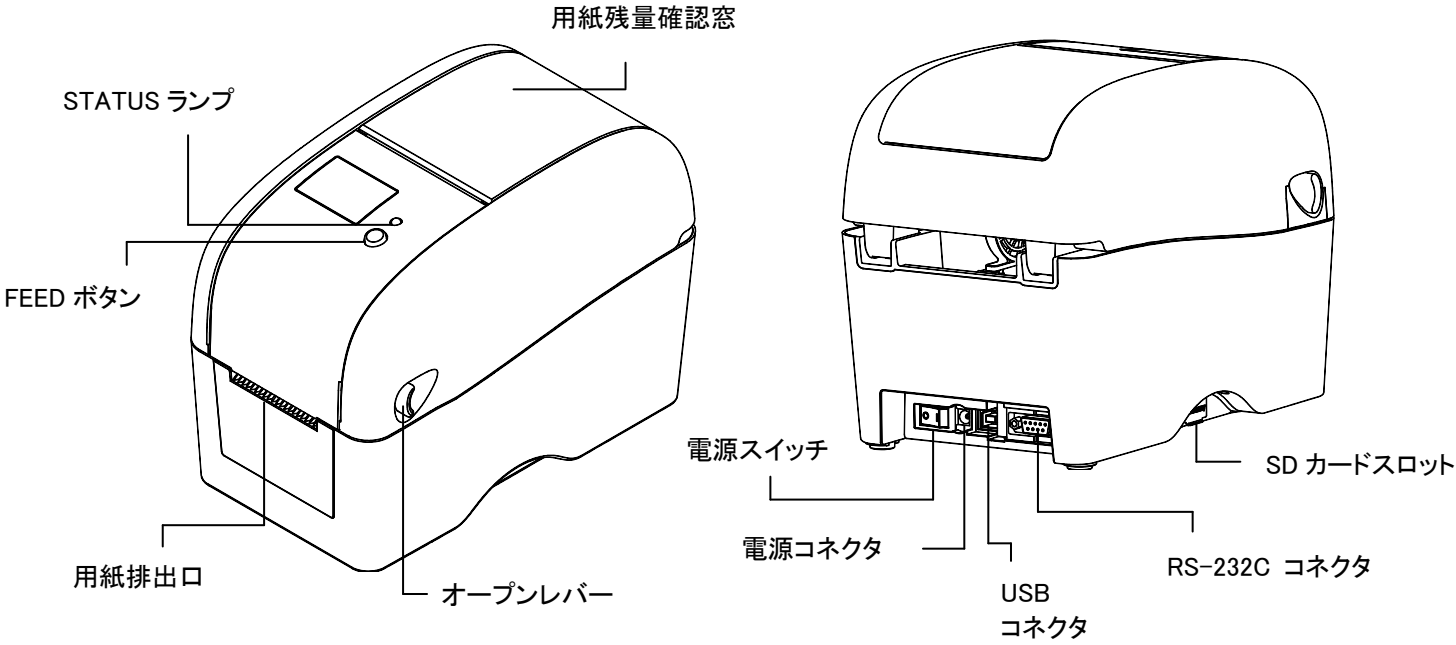
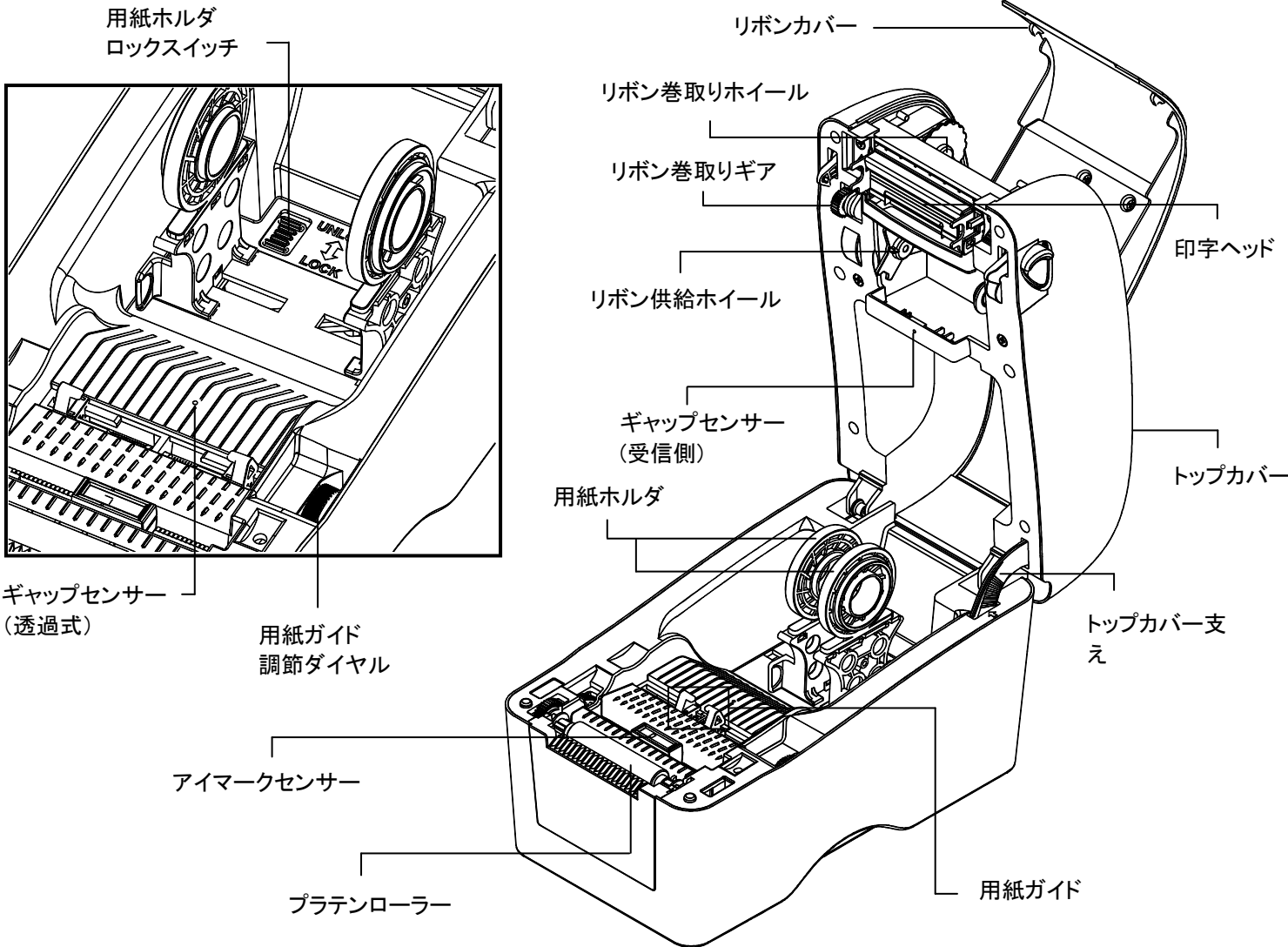


クイックセットアップガイド

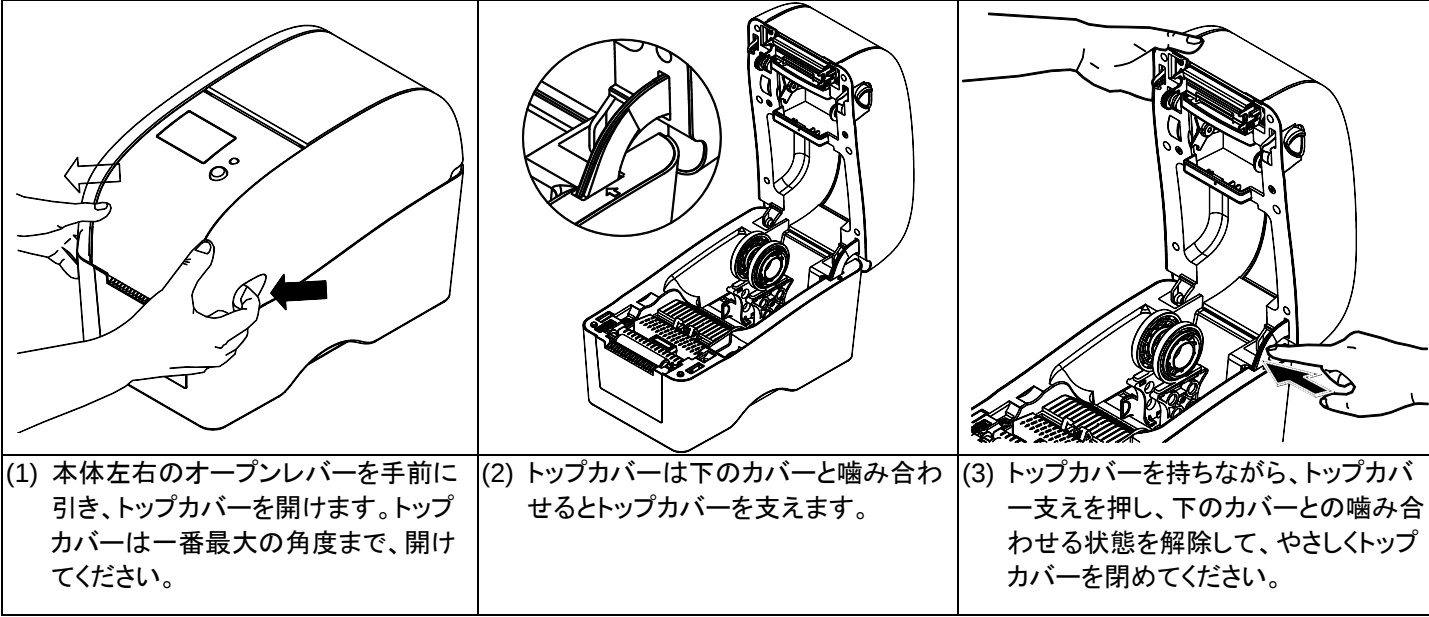
各部の名称



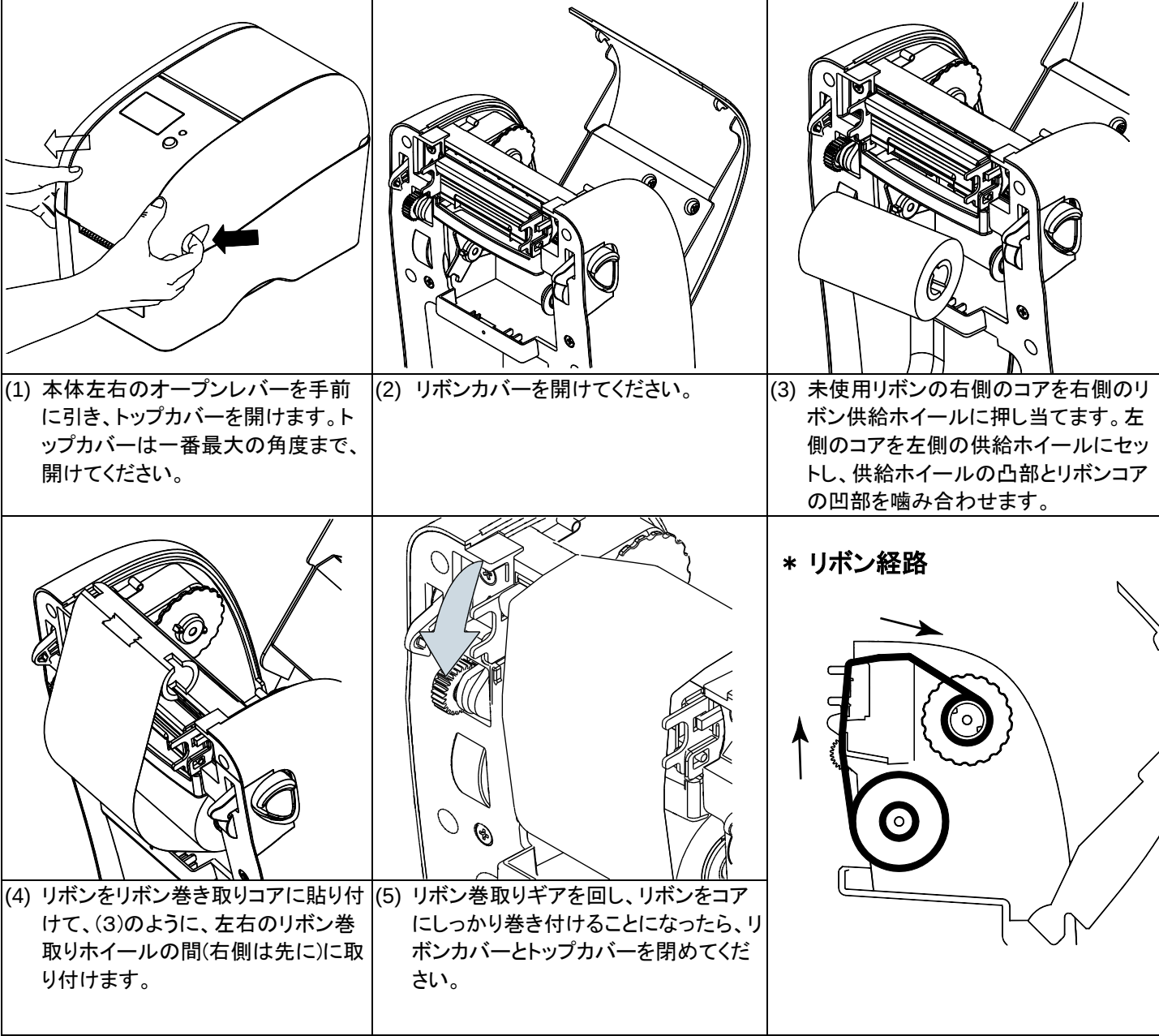
注意:
このガイドのコネクタ図面は参考用です。実際のコネクタは製品スペックに基づいて使用してください。



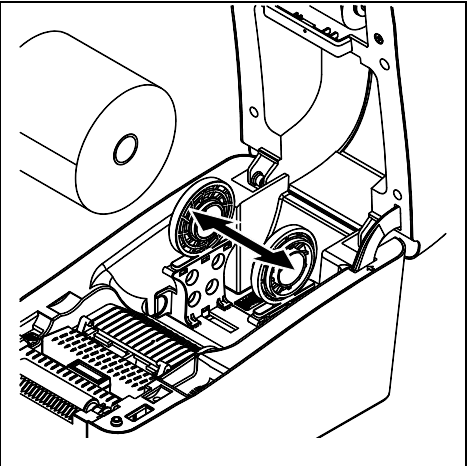
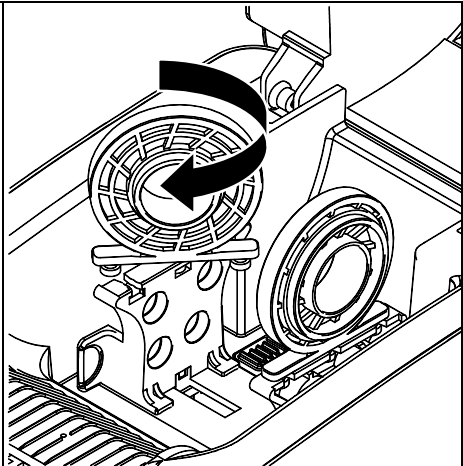
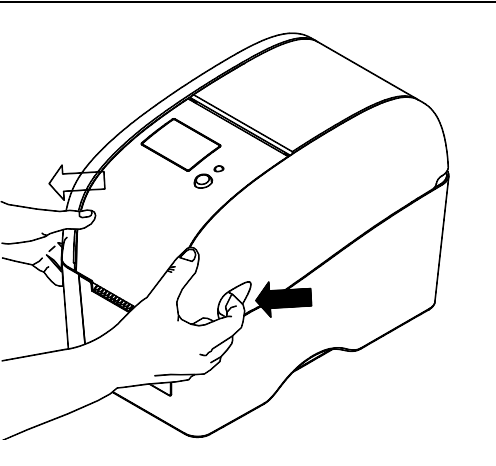
トップカバーを開ける/ 閉める



リボンをセットする



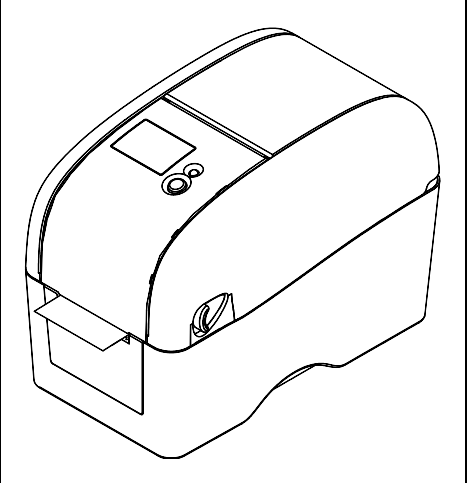
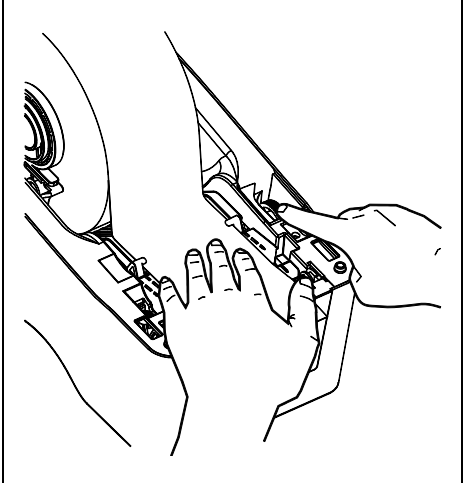
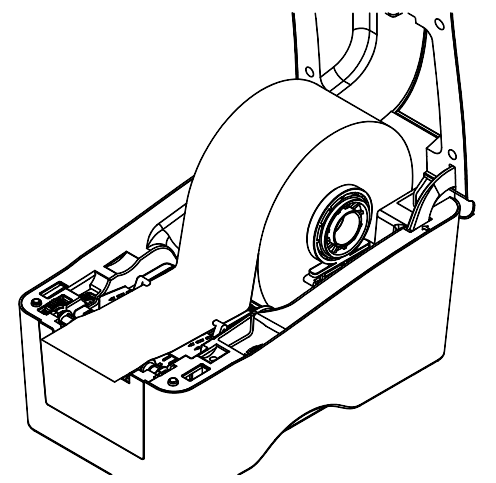
用紙をセットする



(1) 本体左右のオープンレバーを手前に引き、トップカバーを開けます。トップカバーは一番最大の角度まで、開けてください。

(2) 用紙ホルダの上部を 180 度回転すると用紙の支管のサイズを変更できます。サイズは 1 インチと 1.5 インチがあります。

(3) 用紙ホルダの下部に指をかけ、用紙ホルダを左右に広げます。用紙ホルダを広げたまま紙を用紙ホルダの間に入れ、ホルダの下部から指を離して左右の用紙ホルダーで挟みます。

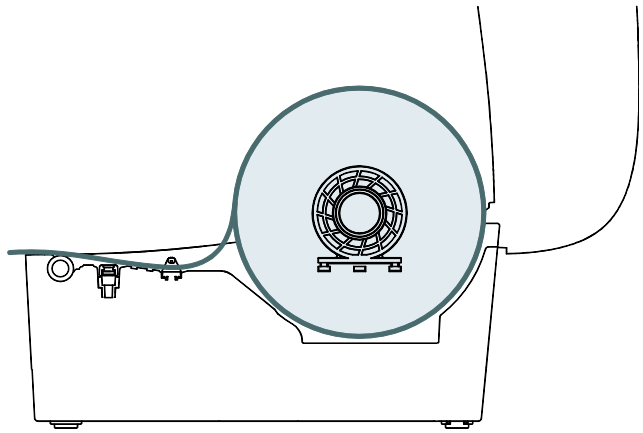


(4) 紙の印字面が上を向いて、紙は用紙ガイド、アイマークセンサーを通して、紙の最先端がプラテンローラーに置いてください。

(5) 用紙ガイド調節ダイヤルを回し、用紙ガイドを用紙にぴったりあわせませす。

(6) やさしくトップカバーを閉めてください。トップカバーの掛け金を確かに下に噛み合わせることを確認してください。

* 用紙経路



(7) “Diagnostic Tool” を使って、センサーをセットし、校正します。(“Diagnostic tool”を起動します → “Printer Configuration” タブを選んで → “Calibrate Sensor”ボタンを押してください。)

注意:
用紙が変わる時に必ずセンサーを校正してください。

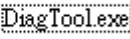
FEED ボタンの機能

- (1) ラベルをフィードします
プリンターを準備完了したら、FEED ボタンを押すと次のラベルの先端に動かせます。
- (2) 印字を一時停止します
印字中にこのボタンを押すと、印字一時停止し、緑ランプを点滅します。この時、もう一度ボタンを押し、印字を再開します。

Diagnostic Tool

“Diagnostic Tool” は使用者がプリンターの状態とセッティングをわかるように作れたツールです。プリンターのセッティングを変える、図とフォントをダウンロードするなど、様々な機能を備えています。このツールを使って、プリンターのセッティングと状態をわかって、トラブルシューティングします。

Diagnostic Tool の起動:

- (1) Diagnostic tool アイコン   をダブルクリックし、ソフトを起動します。
- (2) 主な四機能（プリンター設置設定 Printer Configuration、ファイル管理 File Manager、ビットマップフォント Bitmap Font Manager、コマンドツール Command Tool)

機能タブ

プリンター機能

プリンター状態

端子

プリンターセッ
トアップ

(3) プリンターの機能について

Printer Function	Function	Description
Calibrate Sensor	センサー校正	紙の寸法を測るために、センサーを校正します。
Ethernet Setup	イーサネットセットアップ	基板のイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェーを設定します。
RTC Setup	RTC 時間の設定	プリンターに付いてる RTC とパソコンの時間を同期します。
Print Test Page	テストページ印刷	テストページを印刷します。
Reset Printer	プリンターリセット	プリンターをリセットする。
Factory Default	工場既定値	プリンターを初期化にして、設定は工場既定値に戻します。
Dump Text	ダンプテキスト	プリンターダンプテキストモードを起動します。
Ignore AUTO.BAS	AUTO.BAS 無視	ダウンロードした AUTO.BAS を無視します。
Configuration Page	設置ページ	プリンターのシステム情報を印刷します。

Note:

- * プリンターに関しまして、もって詳しく情報は CD 内部の取り扱い説明書に参考してください。
- * AC アダプタの電源ジャックをプリンターの電源コネクタに接続する前に、電源をオフしてください。
- * スペック、アクセサリ、部品、そしてソフトの内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。